

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 知念 希和 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	食育推進基盤整備事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	食生活改善（食育）に積極的に取り組む人を増やす
事業概要	○若い世代が食に関心を持ち実践につながるよう、体験の機会を増やす取組の推進 ○食に関する情報の収集及び発信の強化 ○食育活動を行う団体や栄養士等のネットワークづくり及び食育活動に取り組む人材育成の推進 ○郷土料理・伝承料理の収集と情報提供による食文化の継承 ○健康な食を推進する環境づくり	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			市町村食育推進計画策定市町村数	目標値	19.00	19.00	19.00	
式・定義	市町村食育推進計画を策定した市町村の数	実績値	21.00	19.00	19.00	19.00		
		達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	食生活改善推進員の年間総活動回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		50,000	50,000	50,000	50,000	回
式・定義	食生活改善推進員の年間総活動回数	実績値	54,543	76,222	77,865	82,774		
		達成率		152.40	155.70	165.60		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	8,996	
うち一般財源(千円)	3,796	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内全市町村で食育推進計画が策定された。
 食生活改善推進協議会の活動回数が目標を達成した。
 料理コンクール応募者が増加した。
 20～30歳代の食に関する関心が薄く、欠食や野菜の摂り方が少ない状況にある。
 朝食を食べない幼児、児童、生徒が減少した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○県や市町村の食育推進計画に基づき、食育の取り組みが進んでいる。
 ○食育に関する活動をする機関や団体、支援者が増えてきた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

20～30歳代の若い世代は、食育に関する関心が薄く、朝食の欠食が多く、野菜の摂り方が少ない。

②困っている状況が発生している「原因」

子ども達や若者は食育に関する体験をする場が少ない
 食育に関する情報収集や情報発信が弱い。

③原因を解消するための「課題」

若者にとって魅力のある食育の情報発信
 食育に携わる人のネットワークづくり

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○若者が食育に関心をもってもらえるような食育情報サイト等の拡充
 ○食育体験を中心とした食育まつり等のイベントの実施
 ○新聞やテレビ等を活用した食育広報、食育体験活動事例集による啓発
 ○食育に関わる庁内各課、関係機関・団体とのさらなる連携強化
 ○健康長寿まね推進協議会とも連携し、若者への情報発信や様々な機会を通じての啓発を推進

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）